

< 参 考 資 料 >  
2 0 1 6 年 9 月 1 日  
東京電力ホールディングス株式会社

# 陸側遮水壁 補助工法について

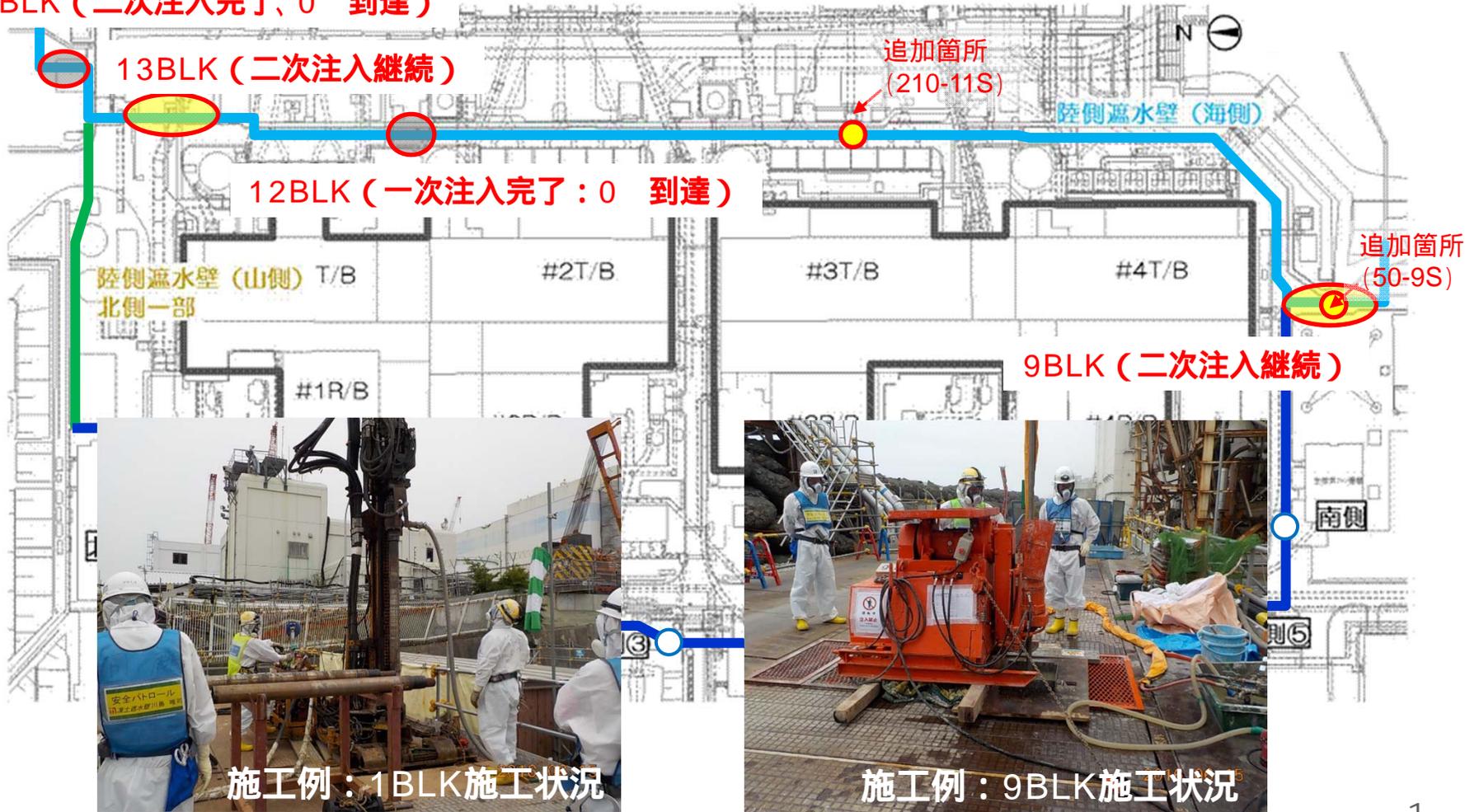
**TEPCO**

---

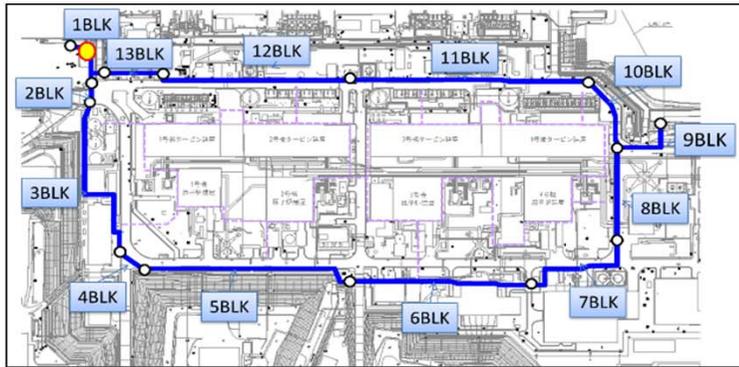
# 海側施工箇所・状況

6月6日から補助工法を実施し、1BLKや12BLKなどでは凍結が進み、0 以下に到達。  
一方、9BLKや13BLKでは測温管位置での温度低下が若干遅れている箇所があるため、二次注入を  
継続する。更に、台風の降雨により温度低下が停滞している2箇所についても補助工法を実施する。

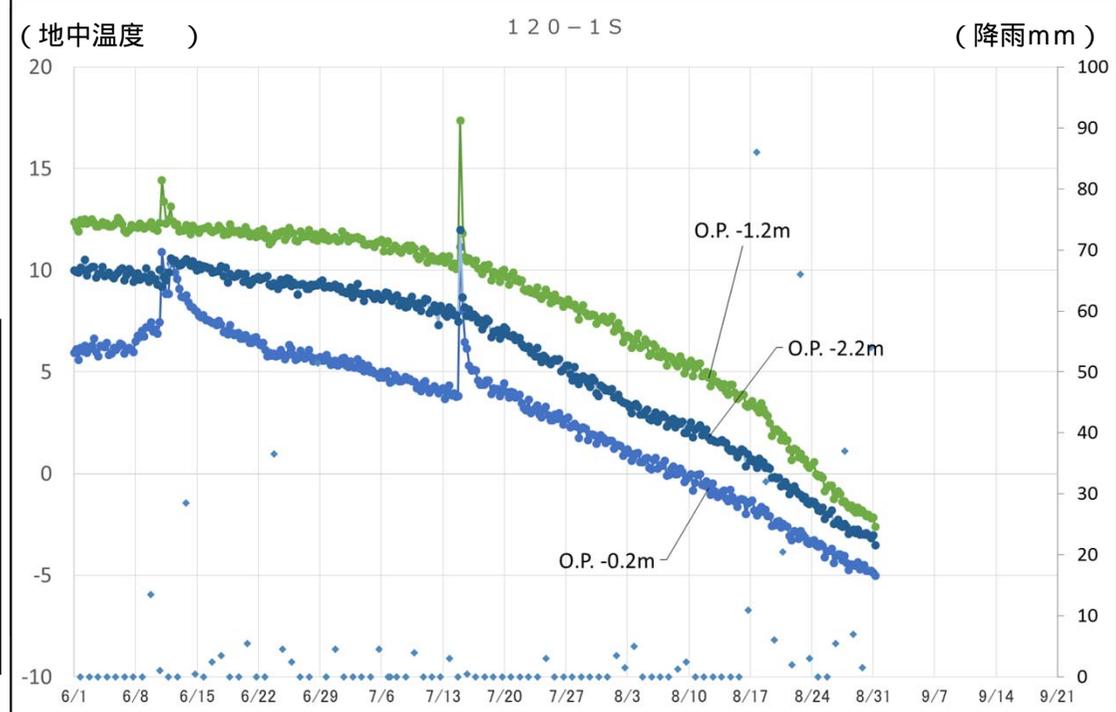
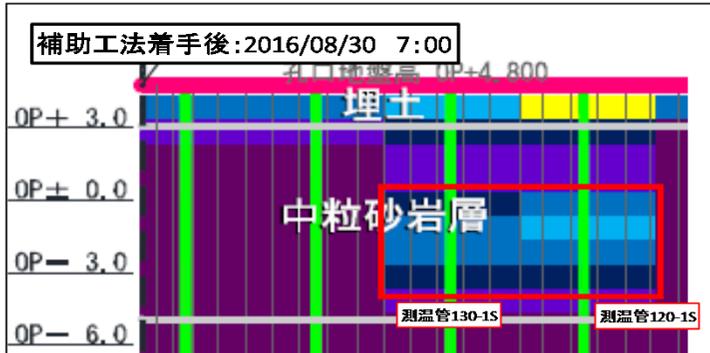
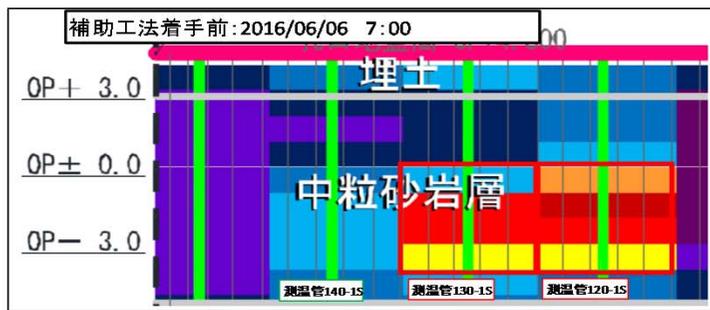
1BLK (二次注入完了、0 到達)



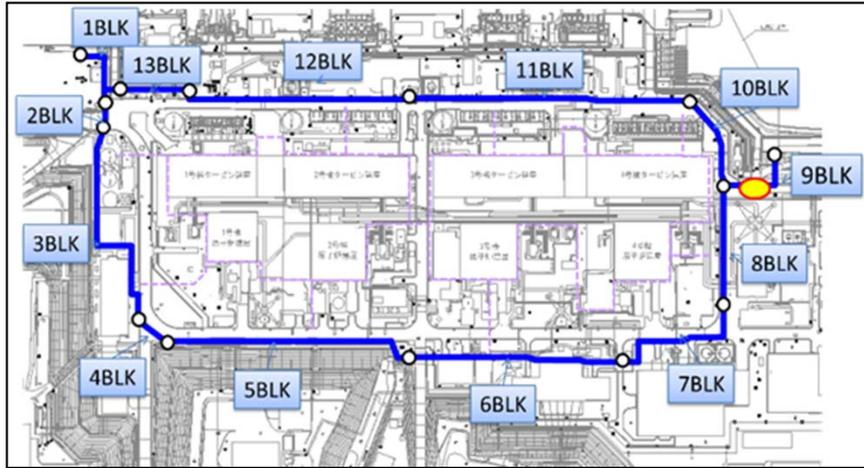
# 注入完了例 (1BLK)



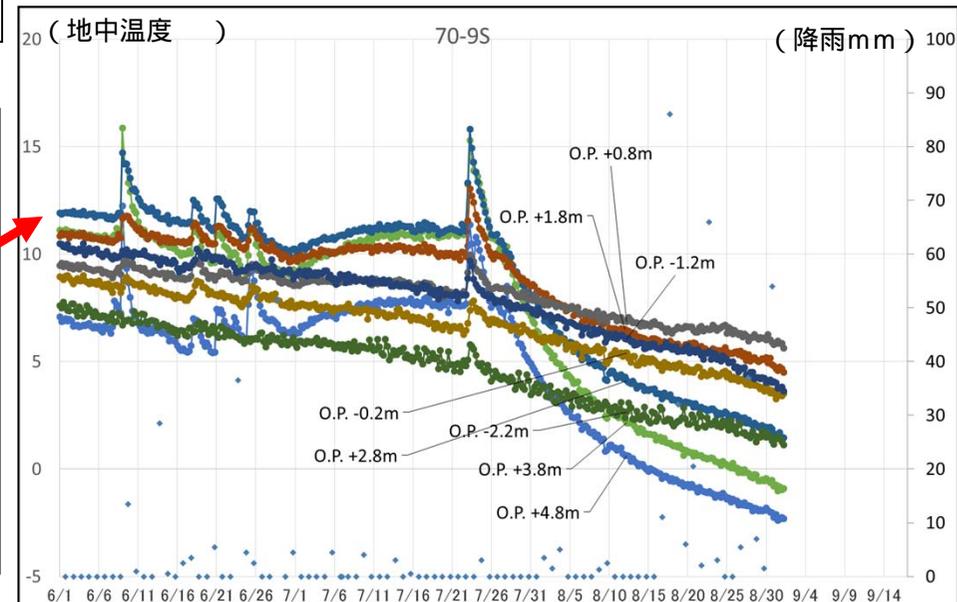
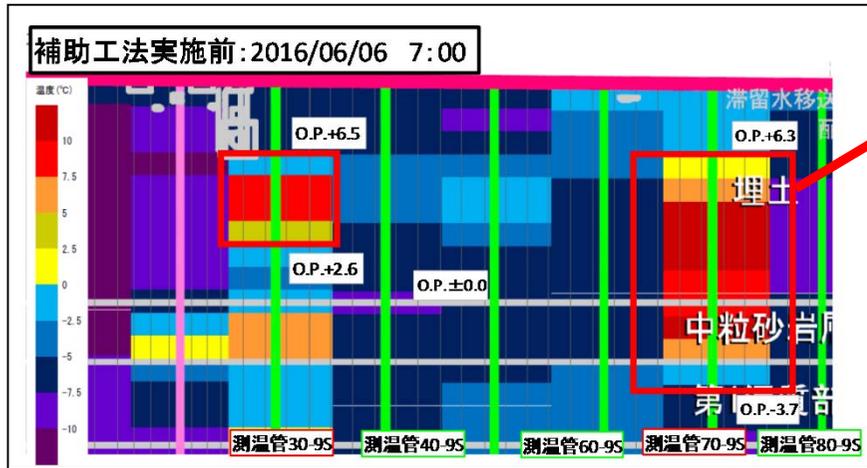
【120-1S】  
120-1S,130-1S共に0 に到達している。



# 補助工法継続箇所例 (9BLK)



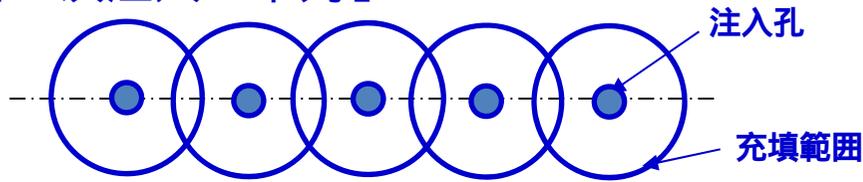
【70-9S】  
 全体的には低下傾向を示しているが、深度によって低下量が鈍い層も見受けられるため、二次注入を継続する。



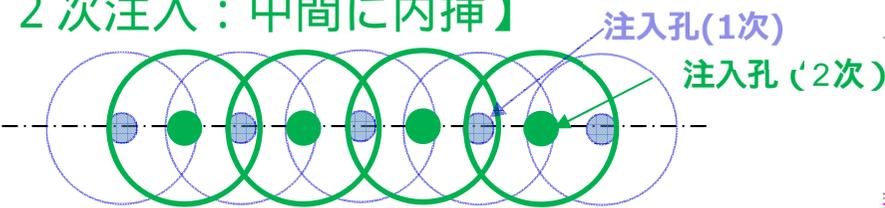
# 補助工法の実施方法 ( 9 BLK , 13BLK )

今後実施する補助工法の打設位置と配列 ( 複列 ) は以下に示すとおり。  
 なお , 注入する材料は注入効果をより高めるために溶液型を使用する。

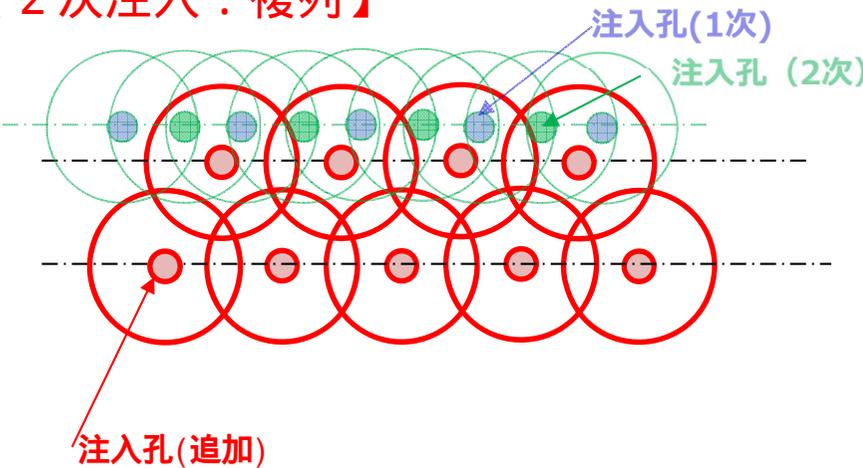
## 【 1 次注入 : 単列 】



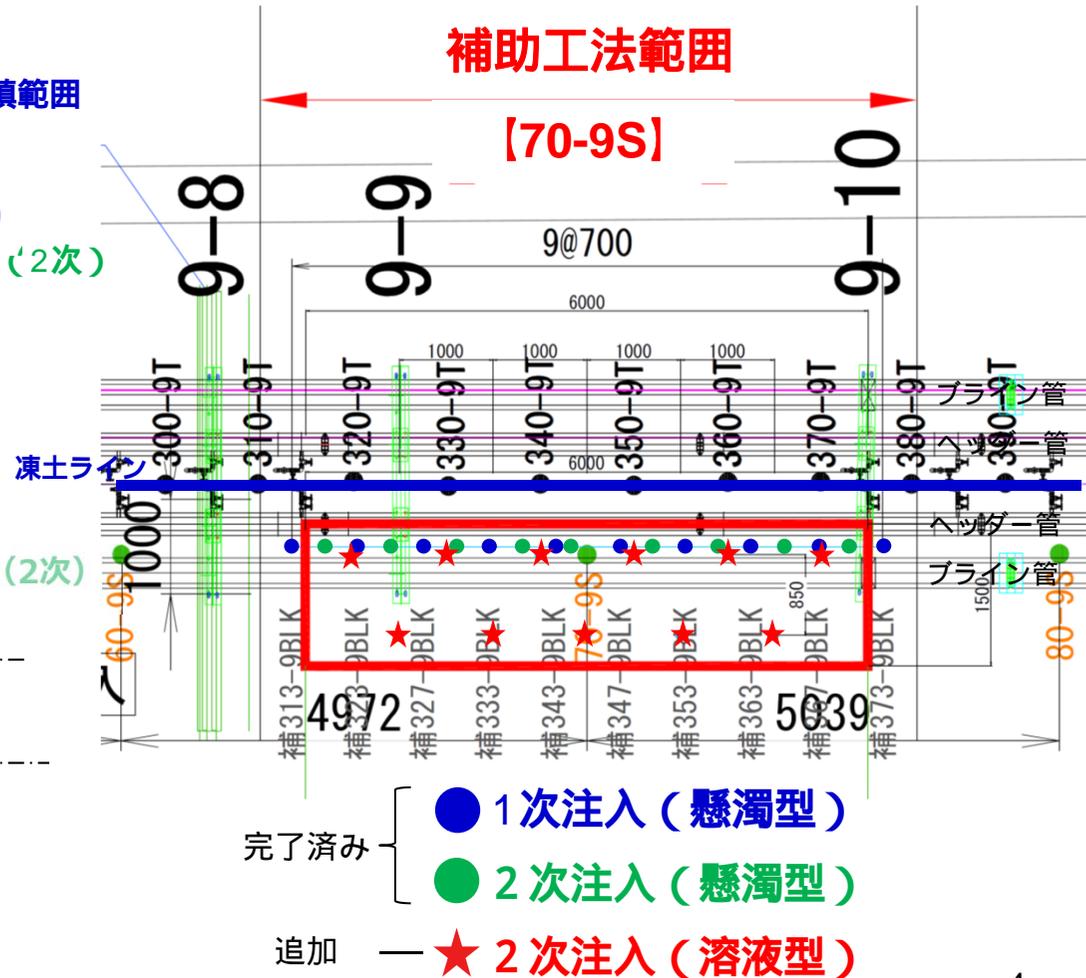
## 【 2 次注入 : 中間に内挿 】



## 【 2 次注入 : 複列 】



## 【 (例) 9 BLK 複列配置 】



# 追加箇所

8月17日の台風7号以降の降雨に伴い、測温管位置の温度が0よりやや低い温度で停滞していた箇所において温度の上昇が認められた。当該箇所についても温度低下を促進させるため、前述の溶液型の材料で補助工法を予定している。

